



News Letter

高校生でも学ぶお金の知識 ——DCはもう常識に！

突然ですが、高校生の金融教育のテキスト（金融庁Webサイトより）からの問題です！

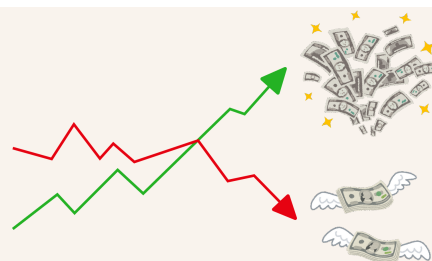
Q1.金融商品の3つの基準とは？

- (A) 収益性・法定性・流動性
- (B) 安全性・収益性・即時性
- (C) 収益性・安全性・流動性



Q2 金融の世界でいう「リスク」とは？

- (A) 損をする危険そのもの
- (B) 結果が良くも悪くも変動する可能性（不確実性）
- (C) 収益が必ず保証されないこと



Q3 次のうち、投資によって間接的に支援できる社会課題はどれでしょう？

- (A) 環境保全
- (B) 貧困対策
- (C) クリーンエネルギー
- (D) 上記すべて



答え（Q1:C、Q2:B、Q3:D）

今はもう高校生のうちから、金融商品の基準やリスクの本当の意味、**投資が社会課題の解決にも繋がる**ことを学んでいます。

そんな知識を持った若者が社会に出てきたとき、「**選択肢がなく、会社が一方的に決める退職金制度（DBや従来型の一時金）**」をどう感じるのでしょうか？

これからの時代は、「**自分で選び、運用できる**」企業型DCこそが常識。

制度の違いは、**優秀な人材に選ばれるかどうかの分かれ道**になっていきます。

次回予告（10月号）

今回は「iDeCoと企業型DCの違い」。どちらも確定拠出年金ですが、会社が制度を用意する意味は大きく異なります。「あるのが当たり前」になっていく企業型DC、その理由を解説します。



企業型DC
特設サイト

CLICK



資料請求は
こちらから

CLICK



マンガが動画になりました！

企業型DC導入支援実績 **900** 社！

株式会社マウンティン

（総合経営サービスグループ）

☎ **03-3911-4649**